

脳神経外科

2007 年

研究業績

原著論文—欧文

1. Takeuchi S, Takasato Y, Masaoka H, Hayakawa T, Otani N, Yoshino Y, Yatsushige H.
Spontaneous Intracranial Hypotension Associated With Dural Sinus Thrombosis..
Neurol Med Chir (Tokyo) 47(12): 555-558, 2007.
2. Yatsushige H, Ostrowski RP, Tsubokawa T, Colohan A, Zhang JH..
Role of c-Jun N-terminal kinase in early brain injury after subarachnoid hemorrhage.
J Neurosci Res. 85(7):1436-1448, 2007.
3. Otani N, Nawashiro H, Fukui S, Ooigawa H, Ohsumi A, Toyooka T, Shima K, Gomi H, Brenner M.
Role of the activated extracellular signal-regulated kinase pathway on histological and behavioral outcome after traumatic brain injury in rats.
J Clin Neurosci. 14(1): 42-48, 2007.
4. Song JK, Niimi Y, Yoshino Y, Khoyama S, Berenstein A..
Assessment of Matrix coils in a canine model of a large bifurcation aneurysm.
Neuroradiology 49(3): 231-5, 2007.

原著論文—和文

1. 正岡博幸, 高里良男, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 菅原貴志, 北橋章子, 帯包雄次郎, 武川麻紀.
重症くも膜下出血に対する脳低温療法を加えた集学的治療の有効性の検討.
Neurosurg Emerg 12: 53-59, 2007.
2. 高里良男.
特集: 神経外傷治療の最新動向.
大規模災害時の災害医療と神経損傷.
脳外誌 16(1): 36-42, 2007.
3. 竹内 誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛.
カルバマゼピンにより脳梁膨大部に可逆的病変を呈した症例.
Brain and Nerve 59(3):286-287, 2007.
4. 竹内 誠, 加藤 宏, 松崎英剛, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛.
脊椎前腔血腫による気道緊急と環椎後頭骨脱臼を呈した1生存症例.
Brain and Nerve 59(10): 1211-1214, 2007.
5. 中谷 充, 川口 務, 竹内 誠.
Leptomeningeal venous drainage を有するが、局所脳血流量検査で低灌流域を示さなかった硬膜動静脈瘻の検討.
脳卒中 35(2):119-123, 2007.
6. 大谷直樹, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 北橋章子, 住吉京子, 青柳盟史, 竹内 誠, 佐々木正史.
破裂感染性脳動脈瘤2症例の検討.
神経救急雑誌 20(2)::95-99, 2007.

7. 大谷直樹.

重症頭部外傷 (特集;疾患別・状況別術後急性期における患者の危険な訴え).
BRAIN NURSING 23(12):1211-1216, 2007.

雑誌掲載

1. 高里良男

災害対応 「災害時、栄養科の役割は水と食事の確保と提供」.
ヘルスケア—レストラン(6)57-58, 2007.

報告書

1. 北多摩西部保健医療圏: 疾病別 (虚血性心疾患、脳卒中)医療連携のためのアンケート調査.
北多摩西部保健医療圏疾病別医療連携推進検討会 (座長:高里良男、菊池正夫編).
2. 北多摩西部保健医療圏: 急性心筋梗塞、急性期脳卒中(医療連携ガイドライン).
北多摩西部保健医療圏疾病別医療連携推進検討会 (座長:高里良男、菊池正夫編).

口頭発表—国際学会・研究会

1. Yoshino Y, Aoyagi M, Tamaki M, Duan L, Morimoto T, Ohno K.

Activation of p38 MAPK and/or JNK contributes to increased levels of VEGF secretion in human malignant glioma cells.
American Association of Neurological surgeons, Annual Meeting in Washington, DC. Washington DC, USA, April, 2007.

2. Hayakawa T, Takasato Y, Masaoka H, Otani N, Yoshino Y, Yatsushige H, Sumiyoshi K, Miyawaki H, Aoyagi C, Takeuchi S, Suzuki G.

Relationship of mild hypothermia and intracranial pressure to neuropsychological outcome in severe head injury
2nd International Brain Hypothermia Symposium. Miami, USA, October, 2007.

3. Takasato Y, Hayakawa T.

Effect of the brain hypothermia treatment to severe brain injury in the Japan Neurotrauma Data Bank (JNTDB)
2nd International Brain Hypothermia Symposium. Miami, USA, October, 2007.

4. Takasato Y.

Main session 2(Emergency Medicine) : Neuro-Emergencies at the time of large-scale disaster.
World Federation of Neurosurgical 13th Interim Meeting/The 12th Asian-Australian Congress of Neurological Surgeons. Nagoya, Japan, November, 2007.

口頭発表—国内学会・研究会

1. 北橋章子, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 青柳盟史, 竹内 誠, 佐々木正史.

拡散強調画像で診断が困難であった急性期脳梗塞症例の検討.
第12回日本脳神経外科救急学会, 東京, 1月, 2007.

2. 竹内 誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 北橋章子, 住吉京子, 青柳盟史.

縊頸により両側後頭葉病変を認めた1例.
第12回日本脳神経外科救急学会, 東京, 1月, 2007.

3. 藤岡政行, 大谷直樹, 米川泰弘.

くも膜下出血発症多発脳動脈瘤における中大脳動脈瘤への対側アプローチ。
第12回日本脳神経外科救急学会，東京，1月，2007.

4. 竹内 誠，高里良男，正岡博幸，早川隆宣，大谷直樹，吉野義一，八ツ繁 寛，住吉京子，
宮脇博基，青柳盟史，佐々木正史。

カルバマゼピンにより可逆性脳梁膨大部病変を示した症例。
第30回日本脳神経CI学会総会，大阪，2月，2007.

5. 北橋章子，高里良男，正岡博幸，早川隆宣，大谷直樹，吉野義一，八ツ繁 寛，住吉京子，
青柳盟史，竹内 誠，佐々木正史。

外傷性髄液漏の治療法の検討。
第57回日本救急医学会関東地方会，横浜，2月，2007.

6. 早川隆宣，高里良男，正岡博幸，大谷直樹，吉野義一，八ツ繁 寛，住吉京子，北橋章子，
青柳盟史，竹内 誠，佐々木正史。

3D-SSP SPECTによる頭部外傷後の局所脳血流低下パターンの分析。
第30回日本神経外傷学会，仙台，3月，2007.

7. 正岡博幸，高里良男，早川隆宣，大谷直樹，吉野義一，八ツ繁 寛，北橋章子，住吉京子，竹内 誠，
青柳盟史。

重症頭部外傷患者に対する脳低温療法の適応決定の因子について。
第30回日本神経外傷学会，仙台，3月，2007.

8. 大谷直樹，高里良男，正岡博幸，早川隆宣，吉野義一，八ツ繁 寛，北橋章子，住吉京子，
青柳盟史，竹内 誠，佐々木正史。

髄液短絡術施行患者における外傷性硬膜下血腫の治療成績—当施設6症例の検討—。
第30回日本神経外傷学会，仙台，3月，2007.

9. 根木宏明，高里良男，正岡博幸，早川隆宣，大谷直樹，吉野義一，八ツ繁 寛，北橋章子，住吉京子，
竹内 誠。

当院における頭蓋骨陥没骨折症例の検討。
第30回日本神経外傷学会，仙台，3月，2007.

10. 北橋章子，高里良男，正岡博幸，早川隆宣，大谷直樹，吉野義一，八ツ繁 寛，住吉京子，
青柳盟史，竹内 誠。

当院における外傷性髄液漏の治療成績とその検討。
第30回日本神経外傷学会，仙台，3月，2007.

11. 竹内 誠，高里良男，正岡博幸，早川隆宣，大谷直樹，吉野義一，八ツ繁 寛，住吉京子，
宮脇博基，青柳盟史。

外頸動脈塞栓術を施行した顔面外傷症例の検討。
第30回日本神経外傷学会，仙台，3月，2007.

12. 八ツ繁 寛，高里良男，正岡博幸，早川隆宣，大谷直樹，吉野義一，菅原貴志，北橋章子，
本間正人。

両側減圧開頭術をおこなった重症頭部外傷症例の予後因子の検討。
第34回日本集中治療医学会学術総会，神戸，3月，2007.

13. 大谷直樹，高里良男，正岡博幸，早川隆宣，吉野義一，八ツ繁 寛，北橋章子，住吉京子，
青柳盟史，竹内 誠，佐々木正史。

広範囲脳梗塞における減圧開頭術の治療成績。

第36回日本脳卒中の外科学会, 福岡, 3月, 2007.

14. 佐々木正史, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 北橋章子, 住吉京子, 青柳盟史, 竹内 誠.

当院における脳梗塞超急性期の経静脈的 t-PA 投与症例の検討.

第 32 回日本脳卒中学会総会, 福岡, 3月, 2007.

15. 住吉京子, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 北橋章子, 住吉京子, 青柳盟史, 竹内 誠.

脳幹出血患者の予後に関する臨床的検討.

第 32 回日本脳卒中学会総会, 福岡, 3月, 2007.

16. 早川隆宣, 高里良男, 正岡博幸, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 北橋章子, 青柳盟史, 竹内 誠, 佐々木正史.

3D-SSP を用いたクモ膜下出血後の局所脳血流低下領域の経時変化.

第 32 回 日本脳卒中学会総会, 福岡, 3月, 2007.

17. 青柳盟史, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 北橋章子, 住吉京子, 竹内 誠.

慢性被膜化血腫を伴った静脈性血管腫の一例.

第 102 回日本脳神経外科学会関東支部会, 東京, 4月, 2007.

18. 竹内 誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 鈴木 剛.

外傷性椎骨動脈損傷の 1 例.

第 18 回多摩脊椎・脊髄カンファレンス, 東京, 5月, 2007.

19. 鈴木 剛, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 竹内 誠.

多発外傷を伴う重症頭部外傷に対する脳低温療法.

第25回多摩脳神経外科懇話会, 東京, 6月, 2007.

20. 大谷直樹, 藤岡政行, 米川泰弘.

視床海綿状血管腫に対する Paraculinar transtentorial approach の有用性.

米川泰弘先生記念シンポジウム, 京都, 6月, 2007.

21. 藤岡政行, 大谷直樹, 米川泰弘.

中大脳動脈動脈瘤に対する対側 approach の有用性とその限界.

米川泰弘先生記念シンポジウム, 京都, 6月, 2007.

22. 北橋章子, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一.

拡散強調画像で診断が困難であった急性期脳梗塞症例の検討.

第 21 回日本神経救急学会学術集会, 京都, 6月, 2007.

23. 竹内 誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 鈴木 剛.

軽微な頭部外傷により動眼神経障害を呈した症例.

第 21 回日本神経救急学会, 京都, 6月, 2007.

24. 早川隆宣, 高里良男, 正岡博幸, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 竹内 誠, 鈴木 剛.

重症頭部外傷手術例における脳低温療法と急性期脳圧の経過が高次脳機能に及ぼす影響。
第 10 回 日本脳低温療法学会, 山口, 7 月, 2007.

25. 正岡博幸, 高里良男, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 竹内 誠, 鈴木 剛.

重症頭部外傷患者の脳低温療法における脳循環代謝測定。
第 10 回日本脳低温療法学会, 山口, 7 月, 2007.

26. 渡邊顕弘, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 竹内 誠, 青柳盟史.

亜急性硬膜下血腫における脳血流の検討。
第 15 回多摩神経外傷カンファレンス, 東京, 7 月, 2007.

27. 鈴木 剛, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 竹内 誠.

Germinoma 治療5年後 Choriocarcinoma で局所再発した1例。
第 103 回日本脳神経外科学会関東地方会, 東京, 9 月, 2007.

28. 早川隆宣, 高里良男, 正岡博幸, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 竹内 誠, 鈴木 剛.

出血源不明のくも膜下出血における 3D-SSP による脳血流評価。
第 66 回 日本脳神経外科学会総会, 東京, 10 月, 2007.

29. 正岡博幸, 高里良男, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 竹内 誠, 青柳盟史, 鈴木 剛.

重症頭部外傷の脳低温療法施行例における脳循環代謝測定の意義について。
第 66 回社団法人日本脳神経外科学会総会, 東京, 10 月, 2007.

30. 吉野義一, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 竹内 誠, 鈴木 剛, 渡辺顕弘.

CT 定位的血腫吸引術を施行した被殻・視床出血 218 例の検討。
第66回日本脳神経外科学会総会, 東京, 10 月, 2007.

31. 竹内 誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 鈴木 剛.

頸椎損傷に伴った椎骨動脈損傷の検討。
第 66 回脳神経外科学会総会, 東京, 10 月, 2007.

32. 竹内 誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 鈴木 剛.

脳梗塞超急性期の経静脈的アルテプラゼ投与症例の成績と問題点。
第 66 回脳神経外科学会総会, 東京, 10 月, 2007.

33. 八ツ繁 寛, 岡田満夫.

くも膜下出血の脳血管攣縮におけるアポトーシスと JNK の役割。
第 66 回日本脳神経外科学会総会, 東京, 10 月, 2007.

34. 大谷直樹, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 青柳盟史, 竹内 誠, 鈴木 剛.

破裂内頸動脈前壁動脈瘤の画像診断と治療成績。
第66回日本脳神経外科学会総会, 東京, 10 月, 2007.

35. 鈴木 剛, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 竹内 誠.
脳幹出血の予後に関する臨床検討.
第 35 回日本救急医学会総会, 大阪, 10 月, 2007.
36. 竹内 誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 鈴木 剛.
脳梗塞超急性期の経静脈的 t-PA 投与症例の検討.
第 35 回日本救急医学会総会, 大阪, 10 月, 2007.
37. 竹内 誠, 加藤 宏, 井上潤一, 本間正人, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子.
頸椎損傷に伴った椎骨動脈損傷の検討.
第 35 回日本救急医学会総会, 大阪, 10 月, 2007.
38. 早川隆宣, 高里良男, 正岡博幸, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 竹内 誠, 鈴木 剛, 倉本憲明.
3D-SSP によるクモ膜下出血における局所脳血流低下の経時変化の分析.
第 47 回 日本核医学会学術総会, 仙台, 11 月, 2007.
39. 早川隆宣, 高里良男, 正岡博幸, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 竹内 誠, 鈴木 剛, 倉本憲明.
3D-SSP SPECT による頭部外傷後の局所脳血流低下領域の分析.
第 61 回 国立病院総合医学会, 名古屋, 11 月, 2007.
40. 八ツ繁 寛, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 戸根 修.
くも膜下出血に対するコイル塞栓術後の高次脳機能障害と 3D-SSP による局所脳血流低下の検討.
第 23 回日本脳神経血管内治療学会総会, 神戸, 11 月, 2007.
41. 吉野義一, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 竹内 誠, 鈴木 剛, 戸根 修, 富田博樹.
総頸動脈結紮と GDC 瘤内塞栓術を組み合わせた頭蓋内巨大内頸動脈瘤の治療.
第23回日本脳神経血管内治療学会総会, 神戸, 11 月, 2007.
42. 青柳盟史, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 竹内 誠, 鈴木 剛.
出血発症の両側椎骨解離性動脈瘤の3例の検討.
第23回日本脳神経血管内治療学会総会, 神戸, 11 月, 2007.
43. 竹内 誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 鈴木 剛.
重度意識障害を伴う難治性硬膜下血腫を呈した特発性低髄液圧症候群の 1 例.
第 36 回多摩脳神経外科懇話会, 東京, 11 月, 2007.
44. 吉野義一, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣.
被殻・視床出血218例に対する CT 定位的血腫吸引術の検討.
第28回多摩地区脳卒中研究会, 東京, 11 月, 2007.
45. 竹内 誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子, 宮脇博基, 青柳盟史, 鈴木 剛.

脳梗塞超急性期の経静脈的 t-PA 投与症例の検討.
第 28 回多摩地区脳卒中研究会, 東京, 11 月, 2007.

**46. 竹内 誠, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 大谷直樹, 吉野義一, 八ツ繁 寛, 住吉京子,
宮脇博基, 青柳盟史, 鈴木 剛.**

トラッピングにて治療した破裂前下小脳動脈遠位部解離性動脈瘤の 1 例.
第 104 回日本脳神経外科学会関東支部会, 東京, 12 月, 2007.

脳神経外科

2007年

1) 研究班, 受託研究

1. 国立病院機構多施設共同研究.
「国立病院機構下の病院の黒字運営、機能評価向上について」.
研究班員: 高里良男 20万円.
2. 国立病院機構多施設共同研究 (EBM 推進のための大規模臨床研究).
人工栄養 (中心静脈栄養もしくは経腸栄養) を行う際の医療行為の安全性、患者予後に関する観察研究.
研究班員: 高里良男, 研究協力者: 八ッ繁 寛 2.1万円.
3. 頭部外傷データベース委員会 (日本神経外傷学会).
高里良男, 早川隆宣 10万円.

治験

4. ONO-2506 後期第Ⅱ相/第Ⅲ相試験 (×3年で435万円).
高里良男 (2007年分) 179万円.

受託研究

5. シロスタゾールの脳梗塞に対するアスピリンとの比較における検証的試験 (×4年間で892万円).
高里良男 (2007年分) 183万円.
6. バイアスピリン錠 特定使用成績調査.
高里良男 14万円.
7. ハベカシン高齢者に対する特定使用成績調査.
高里良男 12万円.
8. グルトパ注特別調査.
高里良男 53万円.
9. プラビックス使用成績調査.
高里良男 12万円.
10. 検血ノンスロン特定使用成績調査.
高里良男 5万円.

計 490.1万円.

2) 講演

1. 大谷直樹.

くも膜下出血の病態と治療: 災害医療センターにおける脳外科救急体制と救命救急部との連携システムを踏まえて.
第3回関西医大枚方病院脳神経セミナー, 2007年2月22日, 大阪.

2. 高里良男.

ランチョンセミナー: 「重症頭部外傷に対する脳低温療法の効果 (どのような対象, 方法で効果が高いか?)」.
第10回日本脳低温療法学会, 2007年7月6日, 山口 (海峡メッセ下関).

3. 吉野義一, 新見康成, 難波克成.

Joon Song, Avi Setton, Alejandro Berenstein HydroCoil の基礎と臨床.
第16回東京血管内治療研究会(特別講演), 2007年7月14日, 東京(アルカディア市ヶ谷).

4. 早川隆宣.

脳神経外科領域での高次脳機能障害に対する vb SEE による脳血流評価.
第5回 脳核医学画像解析研究会, 2007年9月8日, 東京.

5. Yoshio Takasato.

Luncheon Seminar:「Neuro-Emergencies-Neurological and Neurosurgical Emergencies-」.
World Federation of Neurosurgical 13th Interim Meeting/The 12th Asian-Australian Congress of Neurological Surgeons, November 20. Nagoya (Nagoya Congress Center).

6. 高里良男.

教育講演:「脳梗塞に対する血栓溶解療法について」.
第8回救急症例検討会 2007年12月14日, 東京(国立病院機構 災害医療センター).

3)学会・研究会等の座長

1. 高里 良男.

重症頭部外傷.
第30回日本神経外傷学会, 2007年3月17日, 仙台(仙台国際センター).

2. 高里良男.

頭部外傷 2.
第21回日本神経救急学会, 2007年6月16日, 京都(京都テルサ).

3. 正岡博幸.

血管 I(動脈瘤・血管腫・その他).
第102回社団法人日本脳神経外科学会関東支部会, 2007年4月21日, 東京(アサヒビル吾妻橋ビル).

4. 高里良男.

「t-PA を中心とする脳梗塞超急性期治療」.
第7回多摩ブレインアタック研究会, 2007年6月28日, 東京(吉祥寺第1ホテル).

4)入院、手術統計

入院患者総数	1177 人
腫瘍	57
脳血管障害	564
外傷	363
先天異常	0
感染	7
脊椎. 脊髄	38
その他	148
ベッド数	61床
死亡患者	135名
うち検死	34名
剖検率	3.0%(3/101)

2007年1月-12月

手術総数		524	血管内手術総数	36
(内 緊急手術)	289		(内 緊急手術)	21
脳腫瘍直達手術総数		23	破裂動脈瘤	20
開頭摘出	0	19	未破裂動脈瘤	3
開頭生検術	0	1	AVM	4
経蝶形骨洞手術	0	2	AVF	1
その他	0	1	頸動脈 stent	0
脳血管障害総数	90	120	その他 stent	0
破裂脳動脈瘤手術	52	52	PTA	0
未破裂脳動脈瘤手術	0	19	その他	8
AVM直達手術	0	1		
開頭血腫除去	31	31		
その他	7	17		
外傷手術総数	105	105	定位放射線治療	11
ASDH	30	30	腫瘍	11
AEDH	7	7	AVM	0
CSDH	62	62	その他	0
その他	6	6		
先天奇形手術	0	0		
脊椎・脊髄手術	0	0		
定位脳手術		22		
神経血管減圧術	0	2		
その他	73	205		
(内 脳室シャント)		60		

・入院患者統計・手術件数統計(2003年-2007年)

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
入院患者数	921	1081	1015	1054	1177
手術患者数	414	461	377	387	524